

身近な自然の情報誌

かんきょう便り Vol.18



最近の
環境調査課

今年の桜は散るのが早かったですね。花見をするヒマもありませんでした。

Spring 2006

鯉のぼり



湯之尾滝に飾られた鯉のぼり (菱刈町湯之尾)

「♪屋根よりたか〜い鯉のぼり〜、大きい真鯉はお父さん・・・」

端午の節句が近づくと、あちこちで春の青空を気持ち良さそうに泳いでいる鯉のぼりを見かけることができます。

「鯉のぼり」は、江戸時代に庶民のアイデアから生まれた節句の飾りです。その由来は鯉が黄河の急流を遡り、龍門という滝を登ると龍になって天に昇るという中国の伝説になぞらえ、わが子も健康に育ち将来は大きく出世して欲しいという願いを込めて飾られるようになりました。

それにしても、この伝説を「鯉のぼり」という形で空に泳がせるとは、なんともユニークな発想ではないでしょうか？ こういう日本独自の文化を大切にするとともに、先祖代々の願い、健康でそして立身出世といきたいものです。
(橋口 政信)

●端午の節句にまつわる豆知識

【端午（たんご）の節句】

奈良時代から行われている古い行事。端午とは5月の初の午（うま）の日という意味。それがいつの間にか5月5日に固定されるようになった。



【柏餅】

端午の節句に食べられる柏餅は、「柏」と言う木が、新芽がでるまで葉が落ちないことから「子孫が絶えない」縁起物として広まった。

幸せをはこぶ鳥 コウノトリ



コウノトリお気に入りの水田環境



2006. 4. 12撮影

コウノトリ (コウノトリ目コウノトリ科)

国の特別天然記念物。環境省により、絶滅の恐れが最も高い「絶滅危惧ⅠA類」に指定されている。明治以降の乱獲や生息環境の悪化により1971年国内の野生種は絶滅し、世界でも2000～3000羽まで減少している。日本では冬の渡りの時期に稀に観察される程度であり、今回のように長期滞在するケースは非常に珍しいと言える。

レンゲ草の咲く春の水田で、幸せを運ぶというコウノトリを確認！はたしてどんな幸せを私達に運んでくれるのでしょうか？ (徳永 修治)

昨年12月、薩摩川内市高江町に舞い降りたコウノトリ。渡りの途中と思いきや、なんと先日(4月12日)も確認しました。地元の話によると、高江町の水田にずっと滞在していたということです。

今回もお気に入りの水田で、カエルやバッタをせせせと食べていました。スマートな体つきからは想像できないほどの大食漢です。時折羽を広げ、優雅な舞いも見せてくれます。

春になっても繁殖地に戻る気配がないのは、住み心地の良い高江町を離れるのが名残惜しいのでは？

地元の人たちも水田に立ち入らず、我が子のように暖かく見守っています。観察する際はルールを守りましょう。



河原でさんぽ ～石コロの表情～



川内川の河原 (薩摩川内市東郷町)

河原の岩石
左：砂岩
右：花こう岩



散歩をするのに良い季節になりました。堤防の上から川を眺め散歩するのも気持ち良いのですが、河原に下りると、また違う景色が広がります。

河原に下りてみると、様々な色をした大小の石が目にとまります。川内川では、砂岩、泥岩、頁岩、花こう岩などが多く見られます。

砂岩、泥岩及び頁岩は堆積岩の仲間であり、泥岩が地下深い場所で圧力や熱の作用を受けたものが頁岩になります。また、花こう岩は火成岩の仲間です。"みかげ石"と呼ばれ石材に利用されます。花こう岩は泊野川で多く見られ、石の中の雲母と呼ばれる鉱物が"キラキラ"輝きます。

これら以外にも、変わった色や形をした石が見られ、気に入った石を探すのも案外楽しいものです。

(角 成生)

どっちがどっち? ^{ちょう}蝶? ^が蛾?

チョウとガは同じチョウ目の仲間で、どちらも羽は鱗粉でおおわれ、体型もよく似ています。ではどこが違うのでしょうか? 見分けるポイントは触角です(下図参照)。また止まる時、ほとんどのチョウは羽を閉じて止まります。

これらの違いは、進化の過程で外敵から身を守るために発達してきたと考えられています。ガは身を守るために夜行性になり、触角を発達させ、チョウは昼間に外敵に見つからないように羽を閉じて止まるようになったようです。

チョウとガの見分け方、分かりましたか?
(下沖 洋人)

触角の違い

チョウは棍棒状

ガはフサフサ



● ナミアゲハ



● キマダラセセリ



● チャドクガ



● ツマジロエダシヤク



● ツマグロヒョウモン



● ヒメツバメアオシヤク



● キチョウ



● ヒメウラナミジャノメ



● ベニスズメ

● :チョウ ● :ガ

ブラック データ ブック - The Black Data Book -

地域生態系に悪影響を与える恐れのある外来種リスト

ウシガエル (カエル目アカガエル科)



撮影: 田海川 03/08/23

- **別名、食用蛙。**北米東部原産。日本では食用として1920年頃から輸入され、冷凍肉は缶詰として輸出された。年間数万匹が実験目的に大学や研究所等で利用される。現在、逃げだした個体が野生化し、全国各地に定着する。
- **非常に大型のカエルで最大20cm位になる。**食欲な捕食者で、小型の哺乳類や鳥類、魚類までも捕食する為、他の生物に悪影響を及ぼすとして、今年の2月に外来生物法の特定外来生物に指定された。

参考文献: 環境省HP外来生物・日本カエル図鑑

(今吉 努)

ヒクイナ親子の災難

てんらくじこ こうつうじこ
—転落事故と交通事故—



車にはねられたヒクイナ（親鳥）

○月×日、さつま町の路上にて…

先日、さつま町にて転落事故と交通事故がたて続けに発生しました。現場は見通しの良い直線道路で、周囲は山に囲まれた水田地帯です。

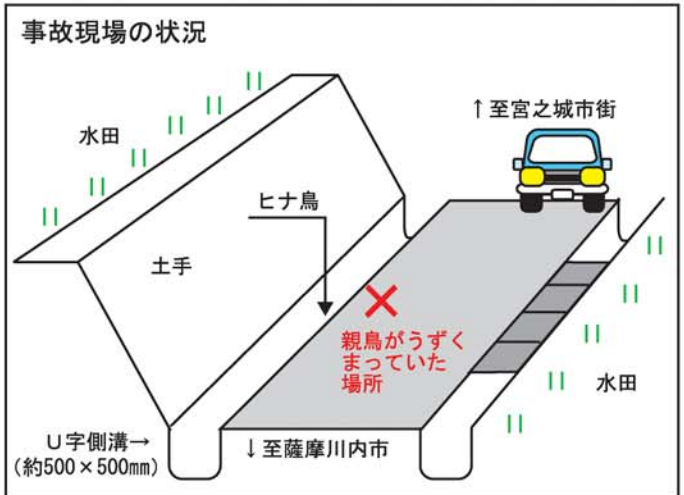
事故はヒクイナ親子が道路を横断する際おこりました。ヒナ鳥があやまって道路脇の水路に転落、その後鳴き声につられた親鳥が車にはねられたようです。

側溝は高さが約50cmあり、ヒナ鳥では這い上がることは不可能です。これは鳥だけでなく一部のカエルやカメ、モグラ等でも同様で、そのまま餓死してしまう例が報告されています。近年このような事例に配慮して、転落した小動物が這い上がれる水路が開発され、設置事例も増えているという話です。

幸い親鳥は軽傷で、ヒナ鳥達も無事救助され水田に帰って行きました。（宅間 友則）



側溝に落ちたヒナ鳥



ヒクイナ（ツル目クイナ科）

河川や水田等の湿地に生息する。雑食性で、湿地の草むらを移動しながら植物の種子や昆虫、貝類を食べる。繁殖期は5～8月、水辺の植物の間に皿型の巣をつくる。幼鳥は全身黒い。

雨

ゲコゲコ、ガーガー、ケロケロ、ピルルルル～
春も終わり頃、長い雨の季節がやってきます、
人にとってちょっと鬱陶しい日々ですが元気になるのは蛙たち。

サーッ…と「土」の上に降る雨の音はとて優しく、
サラサラという小川のせせらぎは疲れた目と耳を癒してくれます。

今、生き物のくらしに配慮した環境整備が進んでいますが
蛙の暮らしやすい環境は人にも良い環境なんだろうと思います。

トノサマガエル



カジカガエル



ヒキガエル



ニホンアカガエル



アマガエル



シュレーゲルアオガエル



ツチガエル



ウシガエル

ヌマガエル



◆身近な環境・生物などについて年4回、季刊として発行しています。ご意見、ご感想、また環境や生物に関する質問など、お待ちしております。次回Vol. 19は2006年7月上旬発行予定です。（編集室一同）

●かんきょう便り Vol. 18 2006年4月発行 編集・発行 新和技術コンサルタント株式会社 環境調査課 〒895-0012鹿児島県薩摩川内市平佐町2416番地
TEL:0996-25-3155 FAX:0996-23-5333 URL: <http://kankyou.net-shinwa.co.jp> E-Mail: info@net-shinwa.co.jp